

第31号 (2024年度 前期)

# 養寿寺だより

発行日 令和6年1月1日  
編集・発行 真宗大谷派 養寿寺  
〒473-0924 豊田市花園町屋敷56  
TEL&FAX (0565)52-4470  
E-mail n-makino@hm.aitai.ne.jp  
ホームページ 花園町養寿寺で検索

花園町養寿寺

検索

## 『形式』をあなたごるなかれ

『形式』ってあんまりいい意味では使われていないようです。「形式的な挨拶は抜きにして・・・」



とか「形式にとらわれず自由に・・・」など  
ずいぶん言われようです。そもそも長い年月をかけ、工夫され、精錬されてきたことが形式

として認められてきたわけですから、形式とは効果的で便利なもの、そして大切なものであるはずです。日頃、「うわべの」とか「窮屈」ととらえられがちな形式を葬儀の面から改めて考えてみたいと思います。

少し前ですが『お坊さんのいないお葬式』の宣伝が頻繁に新聞広告やテレビのCMに登場しました。当時、仏教会の会合やお坊さん仲間でも話題にもなりました。ところが、しばらくすると『お坊さんのいないお葬式』がパツと消えてしまいました。ある報道によると、依頼件数の低迷が理由で開始から1年ほどでこのサービスを取りやめたとのことでした。もともとこの会社に限らず葬儀業界の現場では、「お寺と無縁だったのに親が亡くなったので急ぎよ、お坊さんを・・・」とか「お布施があまりにも高額で・・・」などご遺族のモヤモヤ感や不満を目の当たりにしていたに違いありません。ですからこの企画の背景理由は僧侶の私にも理解できます。ところが大々的に宣伝したにもかかわらず、依頼件数の低迷となってしまうました。なぜでしょうか。断定はできませんし、理由も一つとは限りません。ただ、この広告によると、儀式に加えての上映でなく、仏教の儀式の代わりに『故人の在りし日を回想するムービーを上映し』とありました。ご遺族の協力を得て会社側が短時間に故人を偲ぶオリジナルなムービーを作るのですが、大切な人を失ったご

遺族がその死をとて冷静に受け止めていることが前提となっているように思えてなりません。死を厳粛にとらえるならば、ご遺族が悲しんでおられるのならば、ムービー作成という言葉すら避けたいように思うのは私だけでしょうか。また、誰のため、そして何のためのムービー上映なのかを考えると、葬儀本来の意義から離れていくような気がします。

伝統仏教の葬儀は、儀式作法という形式が決まられています。大切な方の命終を受け入れられずにご遺族がご遺体の前で泣き崩れていても、時が来れば葬儀は形式通りに行われます。形式通りに葬場勤行が始まり、形式通りに喪主様から順番に参列者の焼香が行われ、そして形式通りに火葬場へと向かいます。不思議なことに、葬儀という理屈を超えた非日常の儀式を通過し、「その人のいない日常」をご遺族や葬儀参列者が受け入れ始めていけません。葬儀の核心部分は形式であり、内容の良し悪しを語る次元を超越しているように思えてなりません。

もしも良い葬儀・悪い葬儀が語られるならば、それは、僧侶や葬儀関係者がご遺族や参列者にどのような対応をしたかの評価ではないでしょうか。

形式の優れている点を別の角度から検証してみましよう。さて、通夜・葬儀の場で悲しんでおられるご遺族に対してどんなお悔やみの言葉をおかけしたらいいのでしょうか。考えれば考えるほど深みに



お悔やみの言葉は？

はまるやつかしいな問題です。

それを考えるヒントになるかも知れませんが、『くやみ』というネタが落語にあります。その一部を紹介いたします。



落語『くやみ』

「・・・悲しんでいるんですよ」を身体全体、特に顔で表します。すぐにはその顔が出来ません、遺族に会う手前から、準備をしながら行きます。いよいよ始まります。「あのあゝ（伏し目がちにか細い声で）、何と申し上げればよいのか・・・、何と申し上げればよいのか・・・、うう、うう（泣き声で）、それではこれで・・・」結局、何が言いたいのかさっぱり分かりませんが（笑）、遺族も何が言いたいのか聞き返すこともなく『ありがとうございませう』と頭を下げる（笑）、こんなものが、それなりの『お悔やみ』になるといえるのは実に不思議ですよね。」

『お悔やみ』とは、故人の死を悼み、ご遺族に対する思いやりを表す言葉です。もちろん、ご本人とご遺族の関係性により異なります。『お悔やみ』を一般化するのには少々乱暴かも知れませんが、長々とお話ししたり、ご遺族を励ましたりするのは避けるべきです。気の利いたことを言うこともかえって危険です。ここで使用するべきは、「心よりお悔やみ申し上げます」や「ご愁傷様です」という形式的な言葉です。形式的なこの言葉であなただの尊いお気持ちはご遺族に十分、伝わります。考え抜いたオリジナルな言葉よりも形式的な言葉の方がよっぽど優れているようです。

日常生活の中に、いろいろな形式があります。急激な時代の変化で、消えていく形式もたくさんあります。その中で、今、形式が必要以上に軽く扱われる傾向にあるのではないのでしょうか。形式を重んじる伝統仏教に関わる者として私は声を大にして言いたいのです、「形式をあなたごるなかれ！」と。

(住職記)



写真⑤

写真⑤は、区画整理事務所。豊田市職員の方が毎日勤務されておられます。



イラスト②



写真⑥

写真⑥は、整備された大切川。川沿いの遊歩道も魅力的です。

写真⑦は、区画が整った新田地区。新しい家が建てられています。



写真⑦



写真④

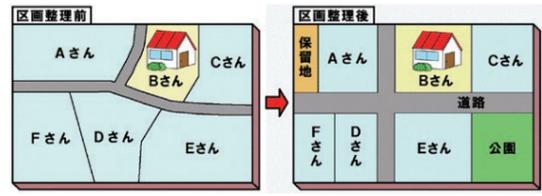


写真③

写真①は花園町区画整理対象エリアの範囲。

イラスト②は駅前整備の完成予想図。写真③は名鉄三河八橋駅東出口。写真④は同駅西出口。東口も西口も前は円形の道になっており、一方通行ですので注意が必要です。駅前には、電車の乗降客に配慮し、トラックの行き交う産業用道路ではないようです。

なお写真は12月3日に撮影。



図①

花園町の区画整理事業とは

- ① 予算 : 約253億円
- ② 期間 : 令和10年頃まで  
ただし工事は令和8年3月末完成予定
- ③ 広さ : 約22ヘクタール  
東京ドーム 約5個分
- ④ 該当する土地の持ち主の数 : 約300人
- ⑤ その他: 道路・河川・調整池・公園・緑地の整備なども同時に行われる
- ⑥ 目的 : 今後の人口増に対応し快適で便利なまちを創る

# 花園町 区画整理事業を知る

区画整理事業とは、道路、公園、河川などを改善し、土地の区画を整え宅地を増やす事業です。元の住民の方の土地を一部提供してもらい、道路や公園を整備します。図①



写真①



写真⑧



写真⑨

写真⑧と⑨ 整地がどんどん進む林地区 12月6日撮影



写真⑪



写真⑩

写真⑪ 道路整備の写真 / 写真⑩ 公園整備の写真



写真⑬



写真⑫

豊田市の行う区画整理事業にともない、新たな公共工事や民間の開発も行われています。

写真⑫は名鉄電車の高架工事

写真⑬は小泉地区の新たな住宅開発(12棟建設予定)

この区画整理事業により将来の発展・人口増が見込まれる花園町。しかし「仏作って魂入れず」とならないように、「良い町にしよう!」という私たち住民の思いと行動こそが大切になってくるのではないのでしょうか。

## 養寿寺世話方会活動と御仏供米ご寄付集め

九年目を迎えた『御仏供米ご寄付』。みなさまのご協力に心より感謝申し上げます。

ご寄付いただいた家 〓三百三十二軒(前年比一〇軒減)

ご寄付いただいた金額合計 〓九十五万六千円(前年比三万八千円減)

\*減少の理由については、花園町の区画整理事業に伴う転居に加え、高齢化・単身世帯の増加・寺離れなどの問題が徐々に顕在化しつつあると考えます。大切な御浄財はお寺の施設や行事のさらなる充実に役立ててまいります。今回の御仏供米の収支は、今回の『養寿寺だより』でご報告申し上げます。



お盆前の草刈り



秋のお彼岸前草刈り



本年度 御仏供米会計業務



納骨堂周辺外構整備

### 養寿寺の活動

#### 『蓮華の会』(写経)

お寺という非日常空間で心穏やかに書写をする『蓮華の会』の活動を本年度も行いました。参加人数は9名。九月から4回実施しました。題材は読み慣れた『正信偈』の書写。また、来年も実施いたします。



蓮華の会 その①



蓮華の会 その②

### 本年度 御依頼割当のご報告

本年度 本山からの御依頼額

百九万七千八百五十円

(同朋会員志四万二千五百円含む)

みなさまのおかげをもちまして、早期に、しかも、御依頼額を上まわる額を納めることができました。心より御礼申しあげます。なお、養寿寺は四十ヶ年連続、本山のご依頼割当を完納したことで表彰されました。



表彰状

また、この本山御依頼割当(経常費)につきましては、院号申請・本山納骨申請に対する御懇志を充てさせていただいております。

(一)院号申請された方

大森あさる様

丸山浩二様

荒川光国様

大森正志様

上山智津子様

\*院号申請 八万円のご志納

院号の御依頼いただいた順に適宜、本山に納めています。

(二)本山納骨申請された方々

寺田富璽雄様 一体

(順不同)

\*ご本山 東本願寺に納骨をご希望される方は養寿寺にご相談ください。本山納骨は一体十二万円のご志納です。手続き終了後は、何年

先でも構いません。納骨を機会にぜひご本山にお参りください。

### 養寿寺施設や備品の充実についてのご報告

(一)合同墓の建造と整備 百三十五万五千円 (世話方会より十万円のご寄付)

(二)本堂音響機材購入 十一万円

(三)庭の樹木剪定など 十二万八千七百円

なお、これらはご寄付いただいた永代祠堂金(永代供養)より支払っております。

寺田浩和様

寺田征司様

寺田一之様

寺田富璽雄様

樹神雅人様

本年度は、以上の方々より御志納いただきました。心より感謝申し上げます。



松の剪定



建碑式



お墓の工事



中庭の整備



購入した音響機材



完成した合同墓

### 令和六年(二〇二四)年度 年忌早見表

一周忌	…令和五年	(二〇三三)	逝去
三回忌	…令和四年	(二〇三二)	逝去
七回忌	…平成三〇年	(二〇一八)	逝去
十三回忌	…平成二十四年	(二〇一〇)	逝去
十七回忌	…平成二〇年	(二〇〇八)	逝去
二十二回忌	…平成十四年	(二〇〇二)	逝去
二十七回忌	…平成十年	(一九九八)	逝去
三十三回忌	…平成四年	(一九九二)	逝去
五十回忌	…昭和五〇年	(一九七五)	逝去

御布施のこと、お一人以上の年忌法要のこと、区切りを付けるための『弔い上げ法要』のことなど、ご質問そのものが仏教に触れていただくことにもなります。遠慮無くご相談ください。また、お寺を年忌会場としてもご利用ください。

### 令和五年度七月から十二月までの 主な行事 ご報告

#### 一. こころの元気塾

七月二十九日(土)・三十日(日)の両日早朝に『こころの元気塾』を実施しました。一日目の講師はNHK「おはよう東海」気象キャスターの土井邦裕さん。二日目は福万寺住職の戸松憲仁師でした。七十六名の方に参加いただきました。



参加者の様子



土井邦裕先生



戸松憲仁先生



パワーポイントを使用しての説明

#### 二. ラジオ体操とお経のお稽古

花園町ひまわり子ども会様の協力を得て八月二十三〜二十五日に実施しました。



体操の様子



お経の稽古の様子

#### 三. 合同初盆会 八月十三日・十四日

昨年の秋から本年度六月下旬の間にお亡くなりになった方のご遺族を対象に合同初盆会をお寺で行いました。本年度も冷房を利用できるお寺の庫裏で実施しました。二日間で十九家族七十六名の方に参詣をいただきました。



合同初盆会 その①



合同初盆会 その②

#### 四. 永代祠堂法要



永代祠堂法要 ご焼香の様子



講師の井野俊介先生



参詣のみなさまと正信偈



お持ち帰りの弁当



和田真雄先生



世話方主催ビンゴ大会



お斎準備の様子

九月二十三日（土・秋分の日）本堂で永代祠堂法要を厳修いたしました。法話の部では、豊田大谷高校講師井野優介先生にお話しをいただきました。また、お斎は、みよし市の『うお茂さん』の弁当をお持ち帰りいただきました。

**五・報恩講**

本年度養寿寺報恩講を十月二十八日の午後、二十九日午前の二日間で厳修いたしました。御志納者は百四十九名（昨年比二十名減）。御志納額は、四十七万八千円（昨年比五万八千円減）でした。ご参詣、ならびに御志納ありがとうございました。一日目の法話講師は、本願寺派の説教師の沓名奈都子先生、二日目は和田真雄先生。お斎は、四年ぶりにお寺でご用意させていただきました。これからも続けていく予定です。また、『ビンゴ大会』を実施しました。景品の充実を図り昨年以上に盛り上がりました。両日ともありがたいことに満堂でした。



お斎の様子 その1



法要の様子



沓名奈都子先生



お寺での戦没者追悼法要



墓前の戦没者追悼法要 その1

**七・年二回の戦没者墓前追悼法要**

例年通り、八月の十四日、花園町戦没者墓地での墓前追悼法要・十二月十二日には養寿寺で戦没者追悼法要が花園町戦没者遺族会主催で執り行われました。



ふれあいクラブ 地藏盆



馬捨の地藏盆 参加者のみなさん

**六・花園町 地藏盆**

今年も八月下旬に、花園町の二カ所で地藏盆が執り行われました。（小松原地区は雨天中止）町の安全を願う道祖神信仰と仏教が融合したものだと言われてます。町の安全は地域の連携を深めることが大切だと言われてます。地藏盆を機縁とし、地域の人がお互い顔を合わせ、お話をすることは町の安全に役立つことになるのではないのでしょうか。



お斎の様子 その2



伝統的な食事



花園町戦没者 遺影



墓前 戦没者追悼法要 その2

のお話をいただき、戦乱の世を終わらせ平和な世を切に願っていた徳川家康の一面を知るなど有意義な研修になりました。



高月院 本堂内



研修会 松平東照宮前

豊田市消防署による養寿寺の立ち入り検査がこの秋にありました。数点指摘をうけ、業者に依頼し改善しました。



消防署の立ち入り検査 その1



三河別院での法話

短信

さる十月十三日に岡崎の三河別院にて私養寿寺住職が法話をさせていただきます。



松平親氏公 銅像



業者による火災報知器整備



消防署の立ち入り検査 その2

【西暦2024年6月までの主な予定ご案内】

蓮如忌については、改めて正式なものをお渡しします。

- 12月31日(日) 除夜の鐘 11時30分頃から 1月1日(月) 修正会 午前0時から 正信偈を読みます。
- 1月4日(木) 養寿寺主催 書き初め会 午前中
- 3月16日(土) 蓮如忌第1日 午後 法要と法話  
講師 蓮如上人ゆかりの寺『応仁寺』ご門徒 蓮如上人絵解き法話 堀江邦子先生を予定  
養寿寺世話方企画 ビンゴ大会
- 17日(日) 蓮如忌第2日 午前 法要と落語 お斎(とき)は弁当に致します。落語 **笑福亭仁智師匠**を予定
- 4月8日(月) 養寿寺花まつり 午前10時 町内回覧板でご連絡いたします。  
コロナで中止していましたが、再開いたします。甘茶や抹茶を楽しんでいただけます。



除夜の鐘撞き



蓮如忌 法要の様子



蓮如忌 落語



ビンゴ大会



花まつり